

家電スマート化に関する 居住者意識の地域差異

平成24～27年度科学研究費(基盤研究(A))
「地理情報科学と都市工学の空間情報解析融合技術の戦略的活用」
平成26年度全体報告会@東北大学
2015.3.7
東京工業大学 小林隆史

調査目的と方法

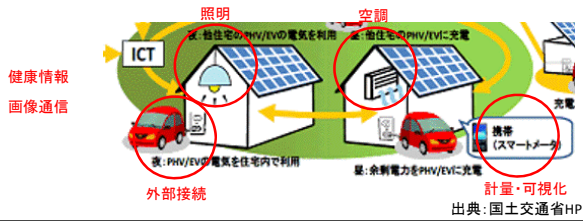
・普及促進策, 補助金制度等によりスマートハウス・シティ関連技術導入が進み始めている. **導入期における一般生活者の意識(認知度及び推進度)調査**により, 実態と今後の課題を把握する.

(※建築開発コンソーシアム:スマートハウス・スマートシティ研究会との共同調査)

- ・スマートハウス等への認知度・寛容度に地域差は?
⇒首都圏, 中京圏, 関西圏の3大都市圏で比較
- ・インターネットリサーチ会社(株式会社インテージ)の登録者から, 最近の住宅購入者・住宅購入予定者を選定し, エリア・性別・年代をばらけるよう回収

スマートハウス

- ・エネルギーの効率利用を指して呼ぶことも多い
- ・広義(原義)ではIT・情報の活用による, 「便利な」暮らしを実現する住まい



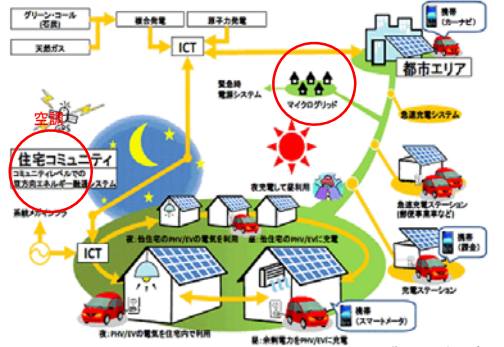
調査画面



●PC, タブレット, スマホ, 全てで回答可能

スマートシティ

- ・QOLを下げずIT活用により節電
- ・交通, 医療, 防犯, 防災へ拡張



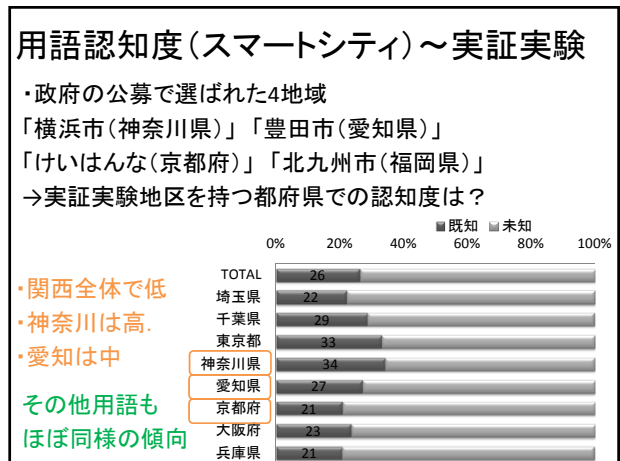
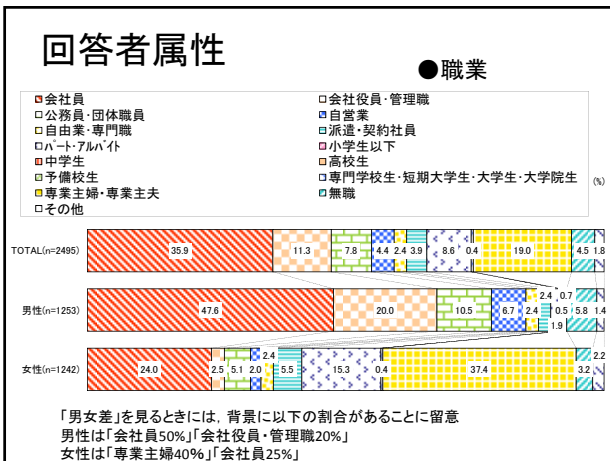
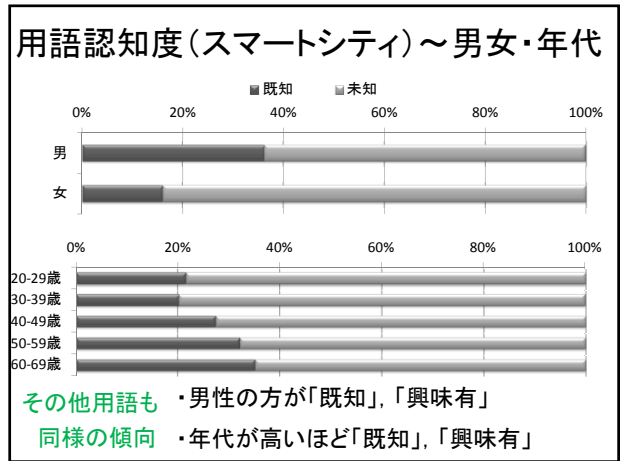
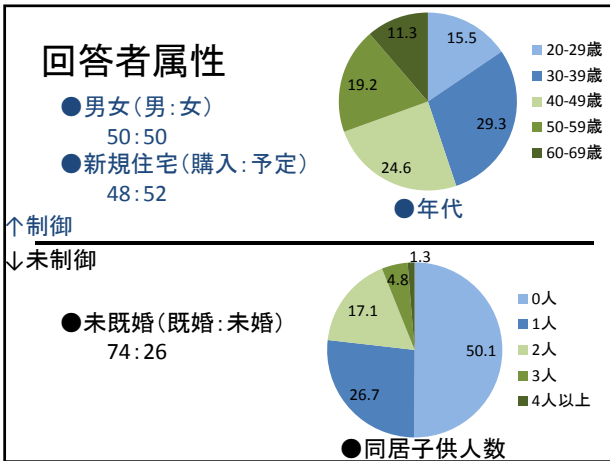
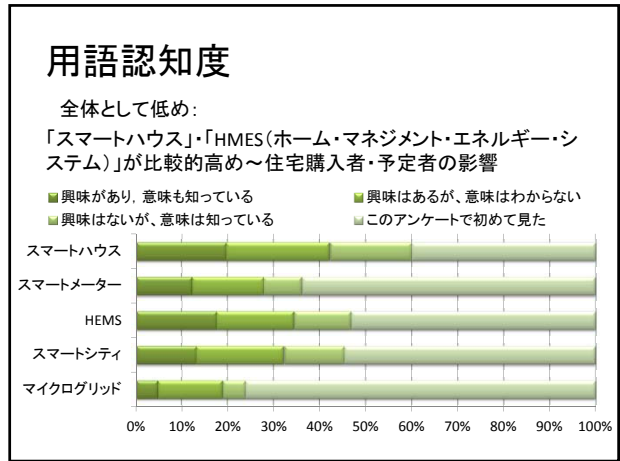
回収概要

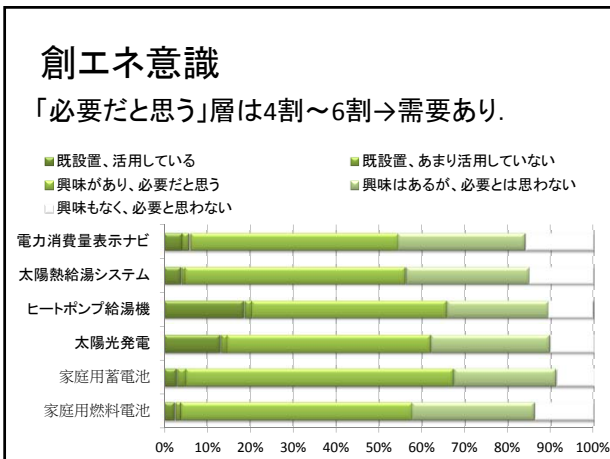
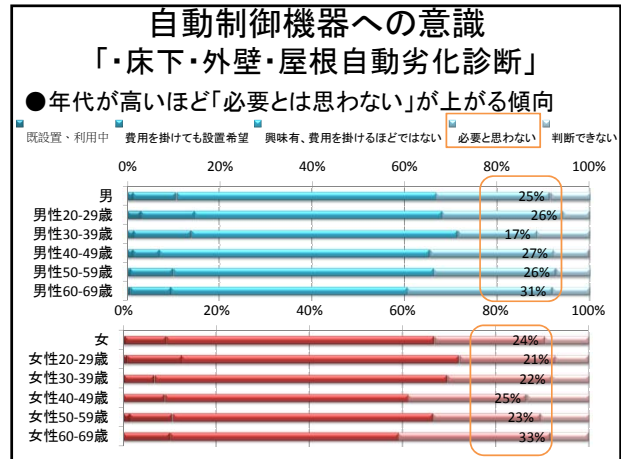
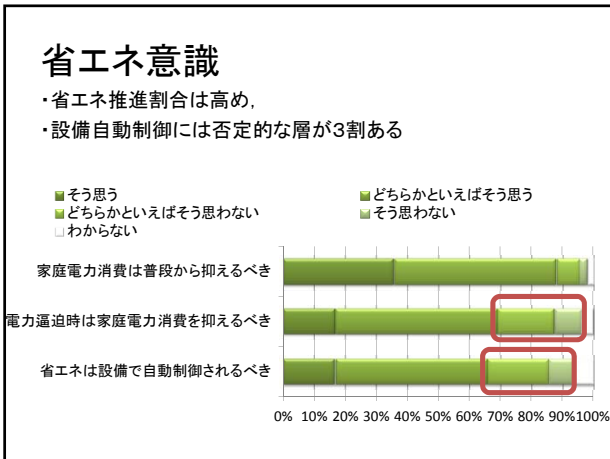
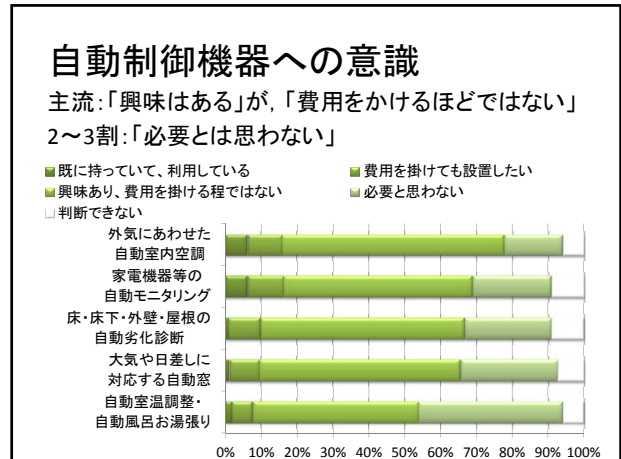
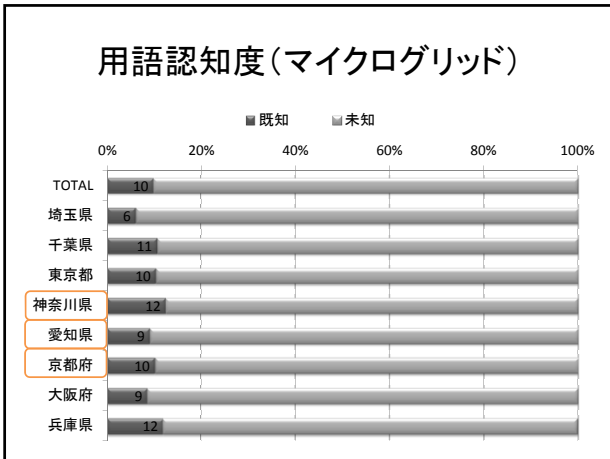
調査期間	2014/11/20～2014/11/25	
依頼数	6271	調査依頼した対象者数
有効回答数	2495	集計対象とする有効回答の対象者数
回収率	39.8%	(有効回答数/依頼数)
回答時間 中央値	00:12:52	(時:分:秒)
回答時間 平均値	01:04:11	(時:分:秒)

回答者属性・エリア

	度数	%
首都圏	1254	50.3
東海	311	12.5
関西	930	37.3

エリア	都道府県	度数	%
首都圏	埼玉県	312	12.5
	千葉県	309	12.4
	東京都	309	12.4
	神奈川県	324	13.0
東海	岐阜県	4	0.2
	静岡県	16	0.6
	愛知県	289	11.6
	三重県	2	0.1
関西	滋賀県	18	0.7
	京都府	189	7.6
	大阪府	363	14.5
	兵庫県	326	13.1
	奈良県	20	0.8
	和歌山県	14	0.6





まとめ・課題

- ・全体的な用語認知度の低さ
～神奈川県が他府県よりも高い
～実証実験都市「横浜市」の影響
- ・男性の認知度高い
～家電購入決定に影響力が強いといわれる
女性へのPRの必要
- ・「費用を掛けても設置したい」は10%程度
～IT活用・自動制御は黎明期
～若い年代ほど、費用による設置に積極的

課題: 実証実験以外のPR施策の検証